



蒲郡市公共施設マネジメントニュース

市内全域の学校・保育園・公民館などの将来の施設配置が決まりました！

蒲郡市では、今後の人口減少・少子高齢化が進む社会情勢を見据え、公共施設の維持更新費用で将来に大きな負担を残さないため、「身の丈に合った施設保有量」を目指すとともに、学習・保育環境の充実・市民の居場所づくりなど時代やニーズに合った施設づくりを行うことでまちの魅力を向上し、“住んでよかった”“住み続けたい”と思えるような誇りと愛着を持てるまちを目指し、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

主にお住まいの地区の方が使用する施設（地区利用型施設）においては、令和4年度に形原地区で将来の施設配置の計画（地区個別計画）策定のための住民ワークショップを開催し、5回にわたって検討を重ねてきました。また、初めての取り組みとして、地元形原中学校の生徒さんがワークショップに参加し、自分たちの住むまちの将来について若者の目線から意見をいただくことができました。これらの検討から得られたご意見をもとに、令和5年9月に形原地区個別計画が完成し、これにより、市内全ての地区で地区個別計画が完成しました。



市内全域の施設配置は中面をご覧ください



地区個別計画の策定ステップ (ワークショップの流れとご意見の反映)



ワークショップ参加者の募集

お住まいの地区の方を対象に広く公募し、さらに子育て世代や地域活動を行う人など関係者には個別に声掛けをしました。

地区の課題の洗い出しや将来像を考える

地区の中で話題になっていることを共有し、将来どんなまちにしたいか視点を整理しました。

再配置プラン案の検討

いただいた視点をもとに作成した複数のプラン案を提示しました。長所や短所、改善点などを話し合い、ワークショップでの意見から作った派生案も含め、比較・絞り込みを行いました。

地区に配布する「かわらばん」や、まちなかで行う「オープンハウス」を通じてワークショップ参加者以外からも意見を募りました。

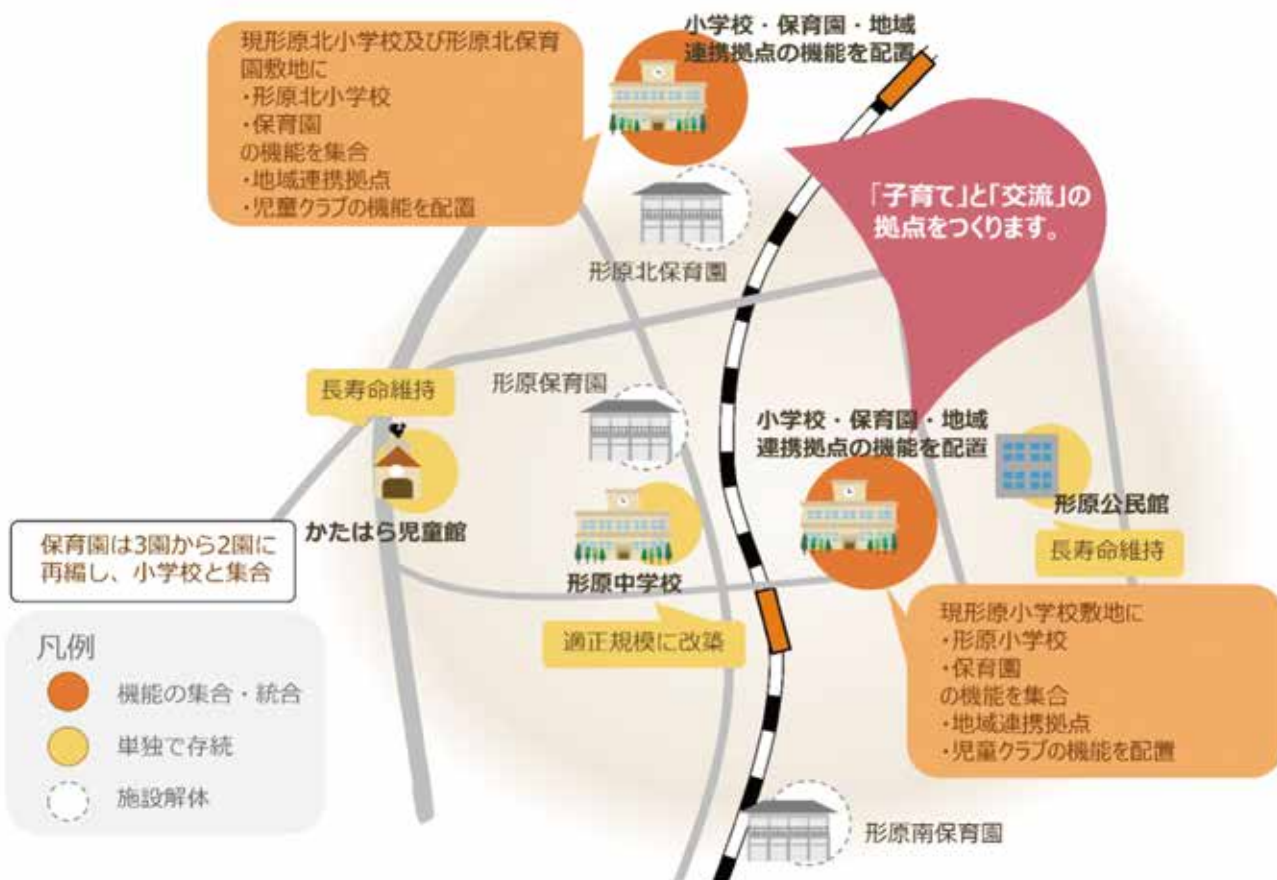


ワークショップの内容を参考に地区個別計画を策定

形原地区個別計画（令和5年9月策定）

コンセプト

小学校を中心にまとまりを生み、「子育て」と「交流」の拠点をつくる



施設再編の内容

- 形原小学校・保育園の機能を現在の形原小学校の敷地に集合させるとともに、地域連携拠点の機能を設置することで、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。
- 形原北小学校・保育園の機能を現在の形原北小学校及び形原北保育園の敷地に集合させるとともに、地域連携拠点の機能を設置することで、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。
- 保育園は2園に再編し、それぞれ形原小学校、形原北小学校と集合します。
- 児童クラブの機能は、各小学校と同じ敷地に設けます。
- 形原中学校は、現地で適正規模に改築します。
- かたはら児童館、形原公民館は、現地で長期にわたって利用できるよう適切に維持していきます。

期待される効果

- 子育て環境の適正規模化
保育園を規模適正化し、低年齢児保育や延長保育を実現
- 交流の活性化
集まりやすい位置に拠点を設置することで住民同士の交流が活発化
- 活動の拡大・充実
施設や設備の相互利用による世代間交流の活性化
- 費用の縮減
運営の効率化や施設の一元管理

今後の取り組み

- 形原小学校 + 保育園 + 地域連携拠点の新施設
- 形原北小学校 + 保育園 + 地域連携拠点の新施設

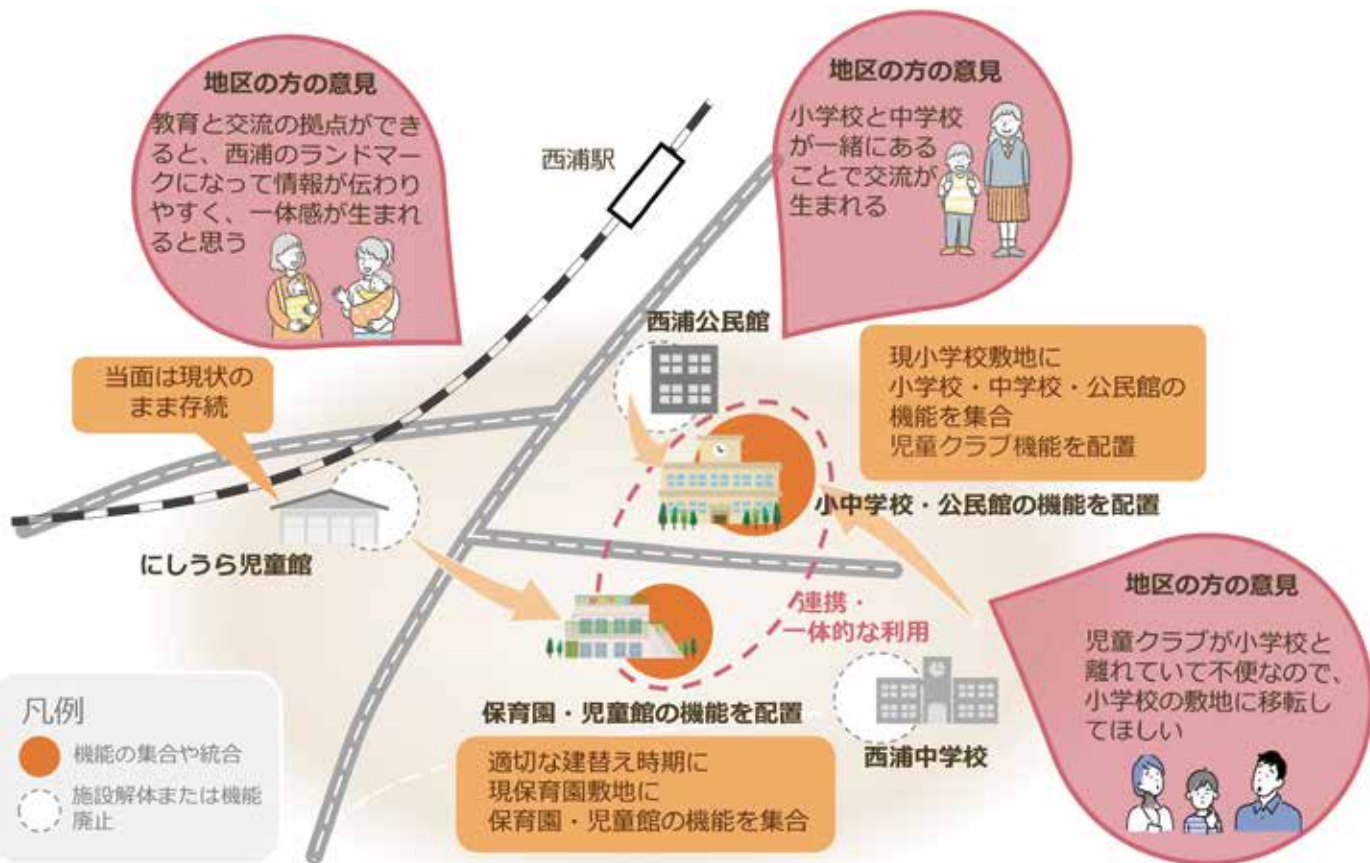
基本計画づくり
・敷地内の機能配置検討 ・管理運営方法検討 など

設計・工事等の具体的な時期は基本計画の内容を踏まえて検討

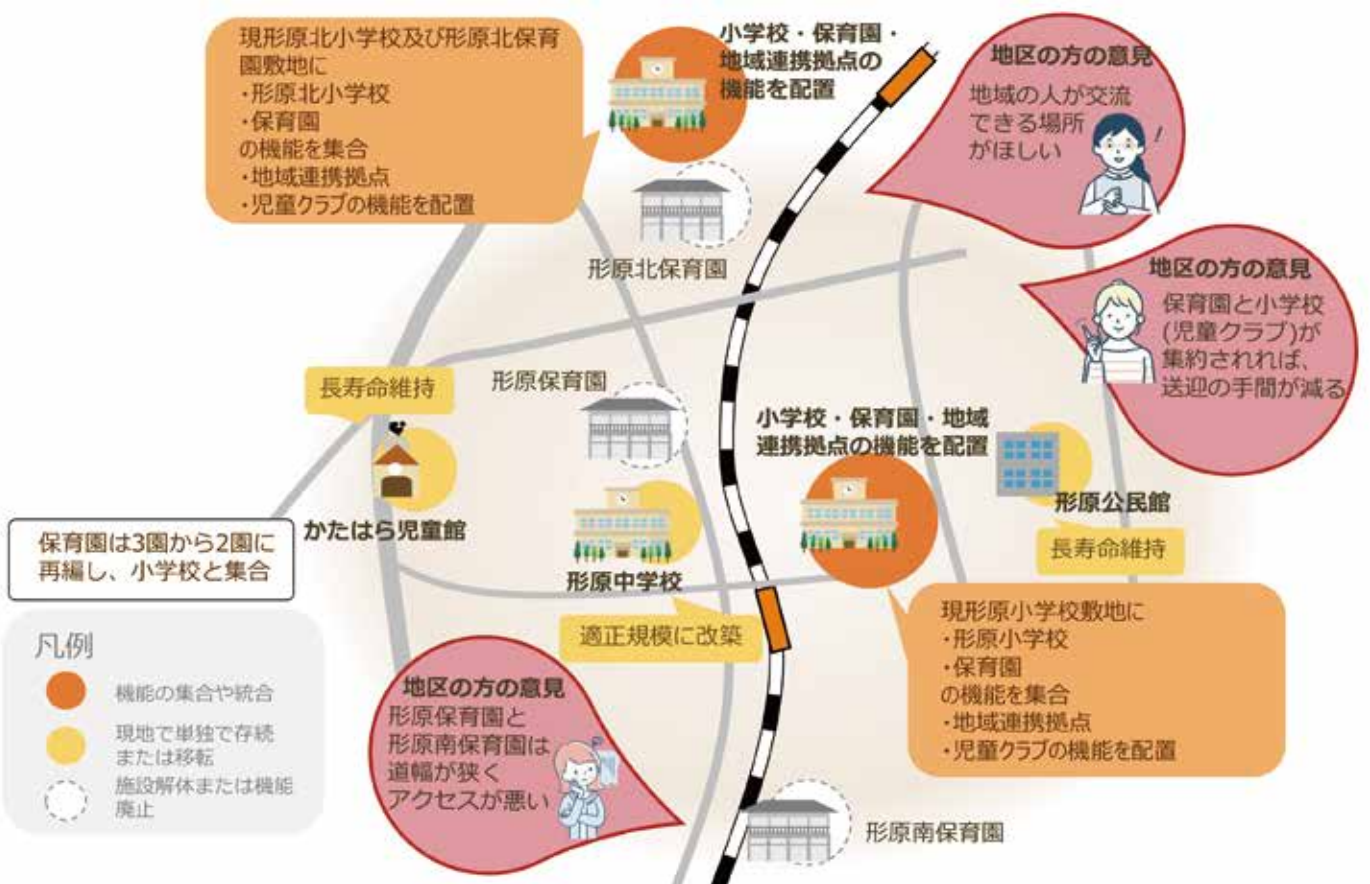
形原中学校 適正規模に改築 かたはら児童館 現地で存続 形原公民館 現地で存続

西浦地区個別計画

保存版 各地区の計画の概要(蒲郡市西部)



形原地区個別計画



地区利用型施設の再配置の内容

凡例

- 機能の集合や統合
- 現地で単独で存続または移転
- 施設解体または機能廃止



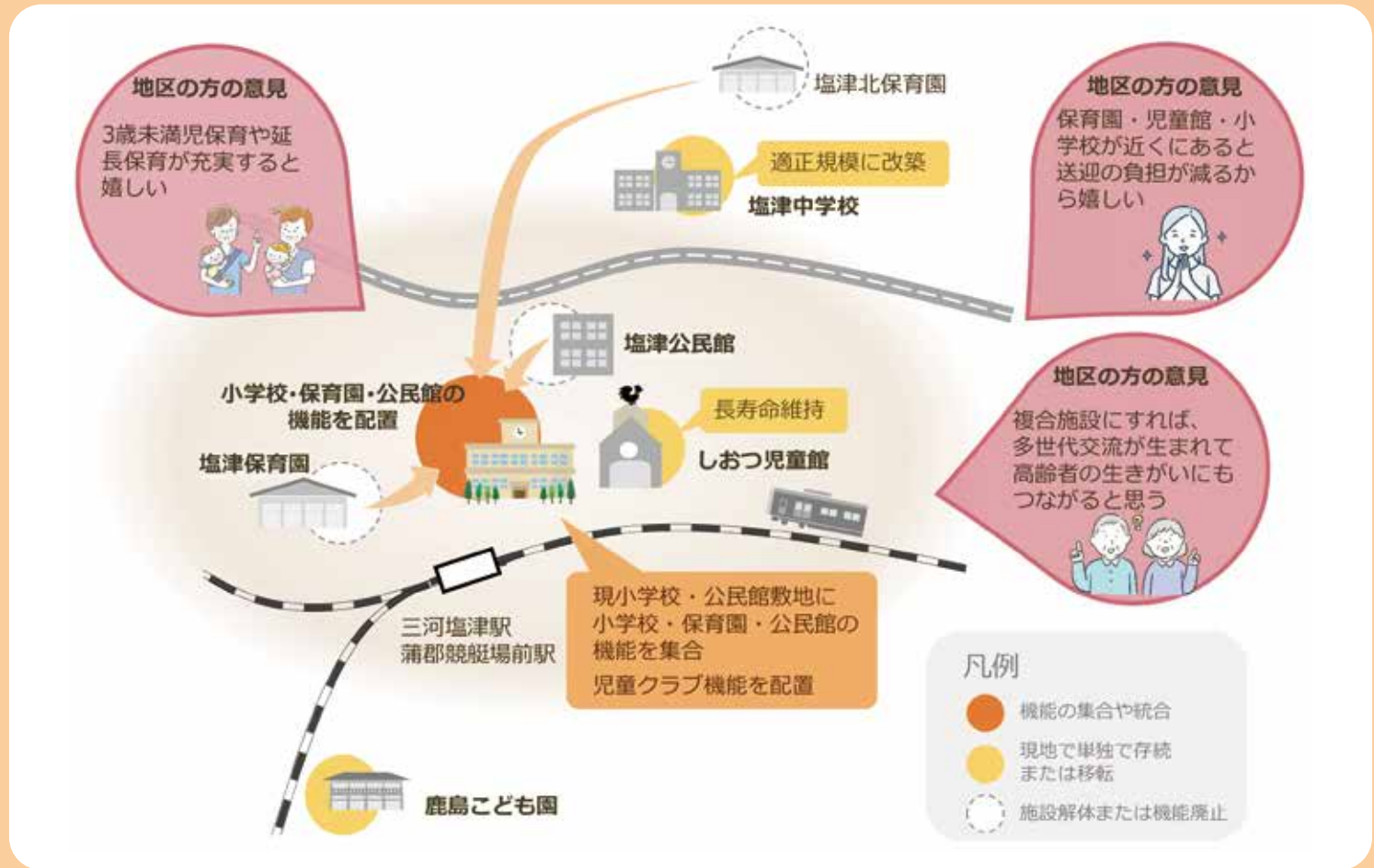
施設再配置の概要

地区	小学校	中学校	公民館	保育園	児童館
大塚	大塚 (現地で中・公と集合)	大塚→大塚小学校の敷地	大塚→大塚小学校の敷地	大塚 大塚西 → 大塚保育園の敷地	おおつか (現地で維持)
三谷	三谷 三谷東 → 三谷小学校の敷地	三谷→三谷東小学校の敷地	三谷→三谷小学校の敷地	三谷東 三谷西 → 三谷東保育園の敷地	みや (現地で維持)
蒲郡南 (蒲郡中学校区)	蒲郡南部 (現地で維持) 竹島 (現地で公・保と集合) 蒲郡東部 (現地で公・保と集合)	蒲郡 (現地で維持)	蒲郡 (現地で維持) 小江→廃止 府相 (現地で小・保と集合) 東部→蒲郡東部小学校の敷地	南部 (現地で維持) 府相→竹島小学校の敷地 東部→蒲郡東部小学校の敷地	がまごおり (現地で維持)
蒲郡北 (中部中学校区)	蒲郡北部、中部中学校 蒲郡西部 → の敷地 中央 (現地で保と集合)	中部→蒲郡西部小学校の敷地	北部 西部 → 中部中学校の敷地	北部 西部 → 中部中学校の敷地 中部→中央小学校の敷地	ちゅうぶ (現地で維持)
塩津	塩津 (現地で公・保と集合)	塩津 (現地で維持)	塩津→塩津小学校の敷地	塩津→塩津小学校の敷地	しおつ (現地で維持)
形原	形原 (現地で保と集合) 形原北 (現地で保と集合)	形原 (現地で維持)	形原 (現地で維持)	形原南 形原 形原北 → 形原小学校の敷地 → 形原北小学校の敷地	かたはら (現地で維持)
西浦	西浦 (現地で中・公と集合)	西浦→西浦小学校の敷地	西浦→西浦小学校の敷地	西浦 (現地で児と集合)	にしうら→西浦保育園の敷地

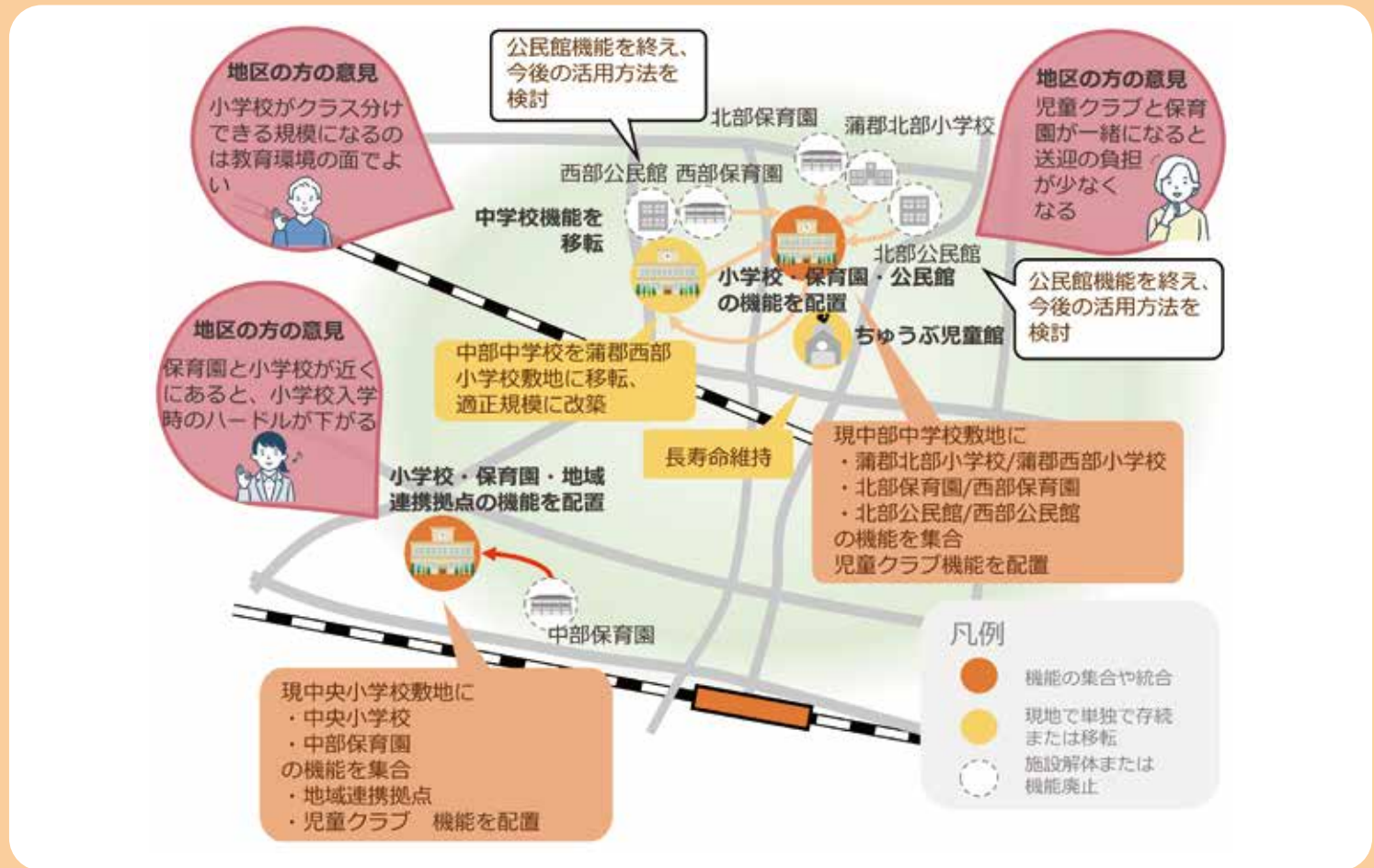
児童クラブは、各小学校と同じ敷地に設置します。

公民館と集合しない小学校 (蒲郡南部・中央・形原・形原北) には、地域連携拠点 (公民館活動や地域と連携できる場所) の機能を設置します。

塩津地区個別計画



蒲郡北地区(中部中学校区)個別計画



地区利用型施設 塩津地区・西浦地区の複合施設の設計業務が進んでいます

令和4年度から施設の詳細な計画や図面等を作成する実施設計が始まっています。実施設計では基本計画の内容をもとに新たに設計ワークショップを行い、教職員など運営者や地域の皆さまの声を取り入れながら業務を進めています。

実施設計は令和5年度までに完了し、令和6年度には工事着手する予定です。

塩津地区



基本計画 (R3)



模型写真



イメージ



※現在詳細設計中のため、これらの図から変更する場合があります。



塩津地区ワークショップの様子

西浦地区



基本計画 (R3)

模型写真



イメージ



※現在詳細設計中のため、これらの図から変更する場合があります。



西浦地区ワークショップの様子

～光がテーマの新たなスポットに～ 西浦駅待合所設計の学生コンペを実施しました



△受賞者の皆さん
(右から2、4番目)



△模型イメージ

令和4年に老朽化のため取り壊された名鉄西浦駅舎。そこは長年にわたり多くの人が行き交い、時には暑さをやわらげたり、思い出の一コマとなった場所です。今は駅のみが残り少し寂しさも感じますが、駅舎があった場所に、新たな待合所を作ることになりました。設計を考えるのは、なんと未来の建築家である建築学生さん。しかも全国から設計案を募集をする学生コンペを実施しました。

応募作品は400件近くにもものぼりました。中には、実際に蒲郡を訪れて住民にまちの様子や歴史を聞き取る学生も。応募作品はどれも蒲郡愛にあふれた素敵な作品でしたが、最優秀賞に輝いたのは、横浜国立大学の学生グループ。テーマは「風透る屋根の下で」として、木漏れ日が心地よく入るように設計されています。来年3月の完成を目指し、蒲郡市と学生とで力を合わせてプロジェクトが進行中です。お楽しみに。

応募総数 377件

最優秀賞

「風透る屋根の下で」

横浜国立大学大学院 野中 美奈さん、大月 菜子さん、飯島 あゆみさん

優秀賞

「温泉との出会いを」

早稲田大学 劉 文彪さん、李 珂瑜さん、章 遂嗣さん

「へえらっせ!にしうら!～記憶に残る西浦の新たなシンボルの提案～」

滋賀県立大学 澤木 花音さん、石川 博利さん



～リーディングプロジェクト～ 建設予定地が決定しました

蒲郡駅周辺に図書館機能・ホール機能・中央公民館を含む生涯学習センター機能の3つの核に、さまざまな機能が融合した場を整備する「リーディングプロジェクト」は、令和4年10月にフォーラム&ワークショップが始まり、いただいた意見を参考に検討を進めています。これまで建設予定地は決まっていませんでしたが、蒲郡駅北側で整備を進めていくことが決定しました。

これまで実施してきたワークショップなどのご意見を参考に、現在基本構想を作成中です。市民の皆さんに愛される施設になるよう、今後も検討を重ねてまいります。



このニュースは、公共施設マネジメントの取り組みを広く市民の皆さまに知っていただくことを目的として発行しています。これまでの取り組みは、蒲郡市ホームページにも掲載しています。また、これまで発行した「地区個別計画」は、本紙中面で概要を紹介したほか、公共施設マネジメント課(市役所4階)にも設置してあります。

